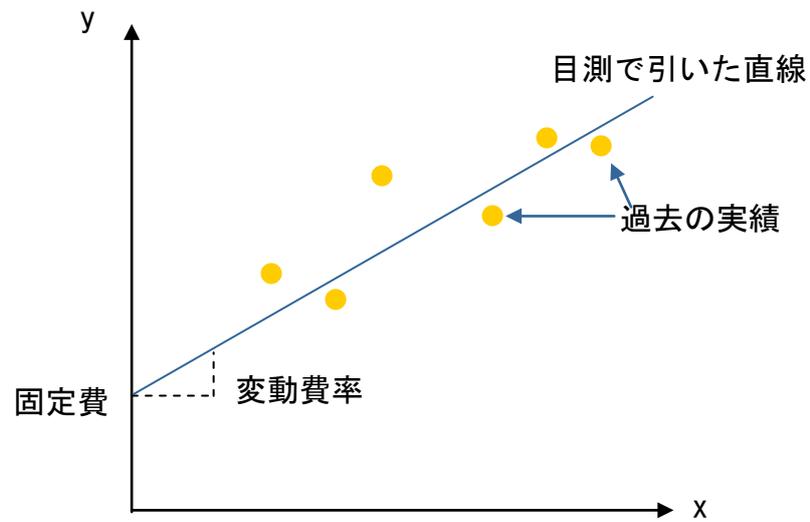


■ スキャッター・チャート法を示すグラフ



現在において、実用的な費用分解の方法としては、「費用別精査法」と「最小自乗法」になります。